
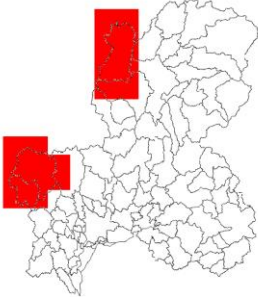


ヒモカズラ	<i>Selaginella shakotanensis</i> (Franch. ex Takeda) Miyabe et Kudô	絶滅危惧 I 類
		イワヒバ科
選定理由	もともと生育地および個体数が少ないうえ、生育地の自然環境が厳しく、種の存続への圧迫に絶えずさらされていると判断される。	写真(荻山恒弘)
形態の特徴	小型の常緑性のシダ。茎は短く匍匐し、よく分岐し、枝が重なり合ってマット状になる	
生態的特徴	高地のやや湿った岩上や岩の割れ目に生育する。	
分布状況	北海道・本州(中部以北)・関西、山陰の一部山地に分布する。岐阜県では県北部と県南西部の高山に分布する。	
減少要因	登山者の増加による環境変化や、岩場の崩壊。	
保全対策	生育場所周辺への立ち入り制限を設ける	
特記事項		
参考文献		

文責: 村瀬正成